

松村克己 まつむら かつじ 哲學者。明治四十二年四月一日大阪生れ（一九八一）。

昭和八年京都帝國大學文學部哲學科卒。京大助教、關西學院大學教授歴任。

著書『森明と日本の神學』（昭和十五年九月）『二十五日帝國大學學生基督

教共助會、弘文堂書店發賣「共助叢書」）、『基督教者の自由』（合

著・由木康編、昭和二十四年十一月五日國民教育出版社）、『キリストの

證人（日本篇）』（合著・小塩力編、昭和二十六年十一月十日新教出版

社「信仰指導叢書」）、『宗教と哲學の根本にあるもの』波多野精

一博士の學業について』（合著、昭和二十九年九月十日岩波書店）、

『キリスト教問答』（合著・佐古純一郎編、昭和二十八年十二月二十

日教文館「現代キリスト教叢書」）、『根源的論理の探究』アナドロギ

ャ・イマギニスの提唱』（昭和五十年十一月十八日岩波書店）等。